

『目標』

- ◆住み良いまちづくり
- ◆環境の浄化運動
- ◆あいさつと親切運動

《編集・発行》

西根地区社会福祉協議会

# にしね福祉



## タイムライン防災

西根地区社会福祉協議会

会長 小山三枝子

令和七年、巳年の今年は、脱皮を繰り返す蛇の習性になぞらえて、復活と再生、金運の年などといわれています。昨年の元日、衝撃的な能登半島地震から早くも一年がたちましたが、復興の道のりは険しくなかなか進んでいない状況に、多くの方が心痛めていると思います。今年は、昨年の様々な痛みが軽減し、日本全体が明るく元気な年になりますよう、手を合わせた元日でした。

さて、本協議会の今年度の主な活動を振り返ってみます。

・高齢者対象映画鑑賞会 「噛みつかれた顔役」

十月二十一日(月) 日田公民館

・一人暮らし高齢者の集い

「アリオンのギター演奏と中華料理」

十一月二十九日(金) 日田公民館他

・会員研修会 「地域づくりにおける高齢者の役割」

九月二十七日(金) 東北芸術工科大学訪問

コミュニティデザイン学科

准教授 壇上 祐樹 先生

・民生委員児童委員と福祉推進委員の合同研修会

「タイムライン防災」

二月十七日(月) ハートフルセンター

ウェザーハート災害福祉事務所

代表 千川原 公彦 先生

二月に行われた研修会は、年度当初から考えていたものです。防災の意識を高め、物心両面からどう備えていくか、もう一度確認してこうということでも実施しました。その際、講師の千川原さんと事前に打ち合わせを行い、市社協の大岡さんにも参加していただき、焦点化を図っていきました。そこで、聞いた言葉が、「タイムライン防災」という言葉です。いつ、誰が、何を行うのか、あらかじめ時系列にまとめることで防災活動を効果的に進めていくという考え方で、事前防災行動計画をさします。今求められている検証の仕方、町内会での役割分担とその動きを明確にして、町内会で統一した対応を図るといった内容でした。昨年の夏は、最上地方や庄内地方で、豪雨による大きな被害もあり、参加者の皆さんは、自分のこととして、ワークショップに参加してくださいました。当日は、市防災対策専門員の沖津清彦氏からもお話を聞きしたところでした。

今年度も、地域の皆様方には、当協議会の事業運営に対しまして、温かいご理解とご協力を賜りました。心より厚くお礼申し上げます。「福祉のまちは西根」をめざして今後も活動を継続してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



一人暮らし高齢者くふれあいの集い>  
アリオン (ギター演奏)

### 活動を通して

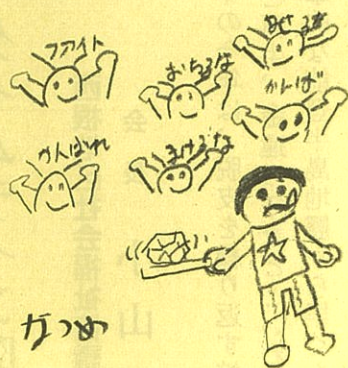
寒河江市学童保育ねっこクラブ第二  
指導員 井上 美智代

「ただいま」と帰ってくる子どもたち、第二の家と言われる学童に元  
気な声が響きます。

ねっこクラブには百人近くの子どもたちが在籍しており、第一・三は  
西根小学校内、第二は秋場設計事務所さん一階をお借りして過ごしてい  
ます。春にはお花見、夏はさくらんぼ種とばし、遠足や映画、秋にはハ  
ロウィン、冬はクリスマスや節分、バレンタインなど四季折々の行事を  
行っています。また、長期休業中は一日学童で過ごすため、色々な活動  
にも取り組んでいます。

その中で、折り紙のくす玉作りをした時、飾るだけではもったいない  
と話になり、上学年の子どもたちがくす玉リレーをしようという提案。やり  
方やルールを考え楽しむことができました。くす玉を上手く運べず、失  
敗した時に「がんばれ!」「大丈夫だよ!」と応援したり励ましたりす  
る声も聞かれました。一つの活動においても自分たちで考え、取り組む  
姿が見られるようになりました。経験  
を通して成長した様子に嬉しく思うと  
ともに、子ども達の柔軟な発想に驚かさ  
れました。

これからも、楽しくわくわくできる  
ような活動を考え、子どもたちが自由  
に発想・成長できるように努めていき  
たいと思います。何卒、よろしくお願  
いいたします。



### 寒河江にしねこども園の開園に向けて

にしね保育所 所長 鈴木 普生

新園舎の建築工事が遅延したこともあり、寒河江にしねこども園の開  
園が令和七年四月一日となりました。まじかに迫る開園に向けて心躍る  
気持ちでおります。建築工事の遅延により、子どもたちをはじめ、保護  
者、市関係者、学校関係者、地域の皆様方には大変ご迷惑をおかけして  
おります。また、多大なご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、来年度から認定こども園となり、これまでの保育所としての機  
能だけではなく、幼稚園の機能を併せ持った施設となります。就学前の  
子どもたちの教育・保育を一体化し、就学するまでの期間、未来を生き  
ていくために必要な力の根っこ部分を育みます。次世代を担う子ども  
たちの健やかな成長のために、学校法  
人不動産が掲げる理念「豊かな人間  
性を培い、いきいきと活動する子ど  
も」「からだ」「こころ」「ともだち」  
を胸に、子供たちが主体的にあそび、  
学べるようサポートして参ります。ま  
た、地域に根ざしたこども園としてご  
期待に添えたいと思っております。私  
たちは、人、物、空間等の子ども達の成  
長に必要な不可欠な環境について考え、  
遊びを通しての学びにより、一層邁進  
していきますので、何卒よろしくお願  
いいたします。



### 「手打ち新そばの旅」に参加して

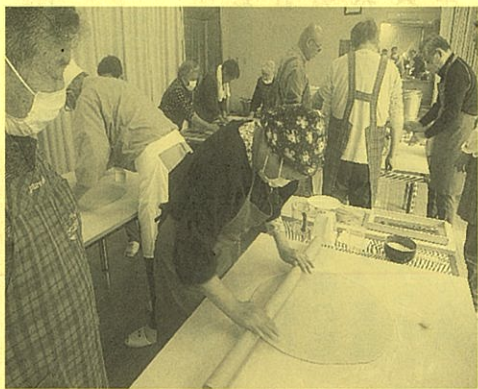
西根北部元気ひろば運営委員長  
安達 正司

昨年の十一月十日に北部公民館と西根北部元気  
ひろばが、初めて「手打ち新そばの旅」という共  
同事業を実施しました。

私たちの元気ひろばは、月一回の割合で、高齢  
者会員相互の健康増進と親睦を図る目的で活動を  
している団体ですが、今回の事業は公民館とのコ  
ラボ事業として、より広範な交流を図るために相  
乗りしたものです。

結果は予想以上に楽しい企画事業になりました。  
た。コロナ明けの交流事業であったため、これま  
での鬱憤を晴らすような感覚で会員も参加したよ  
うです。協力し合ってソバ打ちを体験、出来立て  
を共に食べ笑い合いました。

改めて人はコミュニケーションを図ることに  
よって生きる喜びや隣人との温もりを感じることに  
出来ることを  
実感させられた  
ところ。参加  
人数は十七名  
ほどでしたが、  
これまで疎遠に  
なっていた人と  
の会話や無事を  
確認することに  
繋がったことか  
ら、今後も継続  
事業として期待  
したいと思っ  
ています。



### 見守りの中で思うこと

民生委員・児童委員 安藤 久美子

地域の役員から民生児童委員を頼まれ  
た際、地域について知らないことが多  
かった私には大役であり、引き受ける自  
信が無く、家族に相談しました。家族か  
らは、役に立ってる事があるなら協力する  
よと背中を押されたので引き受け、早三  
年になりました。

見守り活動のなかで、徐々に生活の話  
をして下さる様になった方や「見守って  
くれるから安心だよ。待ってたよ。一人  
だから、今日初めて会話して、何年か振  
りで涙流して笑ったよ。」と温かい言葉  
を頂いた時には、やりがいと喜びを感じ  
ます。

しかし、担当していた方がお亡くなり  
になったり、入院や施設入所された時に  
は、気持ちが落ち込んでしまうこともあ  
りました。そんな時は、先輩方からアド  
バイスを頂きながら、何とかここまで  
やってこれたと思っております。

まだまだ経験不足で至らない点がある  
と思いますが、これからも町内会長さん  
や推進委員の方と相談しながら、皆さん  
に寄り添っていききたいと思っております。

地域の皆様、日頃より情報を頂き、ま  
た温かく見守って下さり、ありがとうございます。

### 若返りのサロン

寿会サロン担当 鈴木 繁夫

西根南部寿会のサロンでは、四月から十一月  
までの第一・三土曜日はチエリランド河川公  
園でランドゴルフ、毎月十八日には公民館で  
の輪投げ大会を主な活動としています。

ランドゴルフでは、西根地区の協会の皆様  
の指導によりコースを回る事で楽しく健康増進  
に、また月一回の輪投げでは会員の交流と体力  
維持に努めています。そしてその後の「公民館  
カフェ」は手作りの漬物やゼリー、お菓子など  
を持ちより、茶飲み話に元気をもらっています。

他に、健康・免疫力アップのためのお話「高  
齢者に必要な栄養・食事の摂り方」とか「お口  
の健康・口腔フレイル予防について」等、管理  
栄養士さんや歯科衛生士さんが分かりやすく楽  
しく話して下さる健康教室も開催しております。  
健康と要介護の間であるフレイルは、筋  
肉がなくなり握力が  
少なくなり、歩くの  
が遅くなるといま  
す。「健康長寿はお  
口から」を合言葉  
に、皆と顔を合わせ  
て笑い合える場が寿  
会のサロンです。

今年、冬季にで  
きるランドゴルフ  
と二月の輪投げ大会  
を「冬の集い」とし  
て行いました。

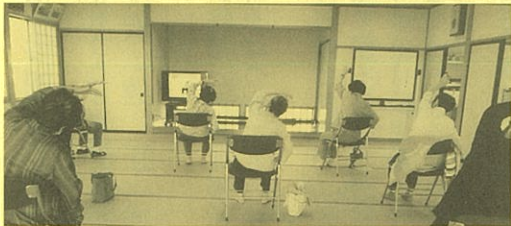


地域の皆さんに感謝して

下河原スマイル会 小野ユキ

生涯にわたって自分らしく生き生きと暮らしていくことを目指し、それぞれの地域で介護予防に取り組めるよう運動等を取り入れた自主団体で、高齢者の健康寿命の延伸を目指す、市からの委託団体です。家庭を守り地域に貢献し寝たきりにならず、笑って楽しく長生きしたいので、みんなの居場所を作ってもらえないかというお話があり、スマイル会と名付けて発足、早いもので六年目になります。

活動内容は、下河原公民館で毎月週一回、九十歳以上のお友達がシルバーカーを押して参加して下さる姿がとても微笑ましく、嬉しく思いました。慈恩寺散策・輪投げ・百歳体操・認知症予防のプログラム・その他。市から貸与のDVDを使用し、間違っても皆さんで笑いこけながら楽しく活動しておりますので、健康維持のため、一緒に如何でしょうか。支え合い、感謝する心で生きる事が、明るい平和な社会になるのではようね!!



健康長寿 皆んなで楽しく

日田東寿会 会長 鈴木俊昭

平成二十八年三月に、先輩方の勧めで入会したが、直ぐ副会長兼会計に任命されました。同年四月から市のご指導を頂き、前身であった日田老人クラブが生き生き元気サロンに生まれ変わることが分かり、団体の名を日田地区が寒河江市の東玄関口に位置し、また健康で長寿を目指す意を込めて「日田東寿会」と名付けました。

元氣サロンとは、外部から束縛を受けず健康で楽しく活動できる団体として発足したものです。活動内容は、六月を除く毎月第二・第四火曜日は日田公民館で生き生き百歳体操・輪投げ・茶会等、年三回の旅行・研修会、冬期を除く月一回、日田の村社である白山神社境内の清掃等です。入会時の会員数は三十六名でしたが、ここ数年、世界を震撼させた新型コロナの影響からか年々減少し、現在は十七名で楽しく活動しております。日田地区在住で七十歳以上の皆様、ご入会を心よりお待ちしております。一緒に楽しみませんか。



300点目指し「輪投げ大会」

◆◆◆◆あとがき◆◆◆◆

「にしね福祉」第80号をお届けします。新年を迎え早いもので3ヶ月が過ぎました。今年は巳年で、新たな事に挑戦するに相応しい年と云われていますので、この際、皆さんも是非チャンスと思って何か始めてみては如何でしょうか。今号は、西根地区で健康長寿、認知症予防等を目的とした「生き生き元気サロン」(寒河江市の通いの場4団体が登録)の活動の特集として掲載しましたので、ご一読ください。さて、新型コロナウイルス感染が未だ終息せず、またインフルエンザ流行も危惧される中ですが、感染防止策を講じながら事業を進めたいと考えておりますので、地区皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(高橋)

「にしね福祉」編集委員

- 小山三枝子 会長
- 丹野和之 副会長
- 高橋保 幹事
- 斎藤利彦 会計
- 芳賀幸子 民生委員・児童委員
- 佐藤ひろ子 民生委員・児童委員
- 大沼亮一郎 公民館長
- 柏屋博之 西根小学校(教頭)